

レスリング樋口 桜井 新競技ブレیکن湯浅



日本、海外で最多タイ

アテネに並ぶ16個

【パリ共同】パリ五輪第15日の9日、レスリングで男子フリースタイル57^キ級の樋口^{れい}(28)とミキハウスと女子57^キ級の桜井つぐみ(22)が育英大助手が金メダルを獲得した。新競技のブレیکن女子では湯浅亜実(25)とダンサー名・AMIが金メダルを獲得した。音楽に合わせ即興のダンスで対戦する競技で女王に輝いた。日本勢は金メダル獲得数が計16個となり、2004年アテネ大会に並んで海外開催の五輪では最多となった。



男子フリー57^キ級で金メダルを獲得した樋口^{れい}（右）
女子57^キ級で金メダルを獲得した桜井つぐみ（左）
ブレیکن女子で金メダルを獲得した湯浅亜実（下）
写真はいずれもパリ（共同）

樋口は2016年里オデジャネイロ五輪「銀」以来のメダル。男子フリーの最軽量級制覇は1988年ソウル五輪48^キ級（当時）の小林孝至以来36年ぶり。素早い片足タックルを軸に活躍。2大会ぶりに戻った五輪で悲願の頂点に立った。

初出場の桜井は中量級で4連覇の伊調馨、2連覇の金城梨紗子が築いた栄光の系譜を継ぐ優勝だった。スタミナと組み手の強さを持ち味に、世界選手権は2021年が55^キ級、22、23年は57^キ級で制覇した。第1シードとして粘り強く闘い、強さを証明した。

湯浅は2018年に世界最高峰の大会「レッドブルBC One」で優勝。19、22年に世界選手権も制覇した。持ち味のステップワークや流れるようなムーブで勝ち抜いた。日本は今大会、スケートボードなど人気の都市型スポーツで存在感を示している。